

β2GPI ネオセルフ抗体検査の 先進医療 A としての運用開始のご案内

2025年6月より、不育症（2回以上の胎嚢確認後の流産）に対する新しい検査であるβ2GPI ネオセルフ抗体検査を、先進医療 A としてご提供できるようになりました。

従来の検査で原因不明とされてきた方の約 20% で陽性となり、抗凝固療法による治療効果が示唆されています。

※自治体からの不育症助成金の対象となります。

※不育症の方のみ先進医療対象で、不妊症（反復着床不全など）の方は先進医療の対象外であり、自費診療となります。

2026年1月

済生会松阪総合病院 ART・生殖医療センター